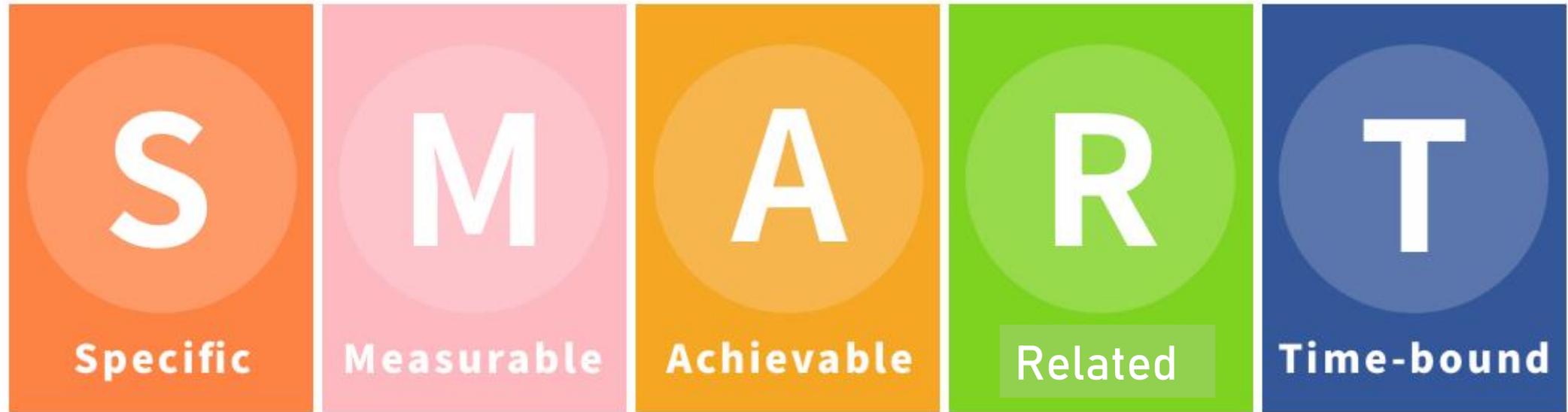


1章⑥

リハ栄養のゴール設定

SMARTなゴール



具体的

測定可能

達成可能

現実的

期間が明確

SMARTなゴール



具体的

~~リハ栄養でリハビリ効果~~を上げる

3食ミキサー食摂取が可能

特定の範囲における具体的な目標か？

SMARTなゴール



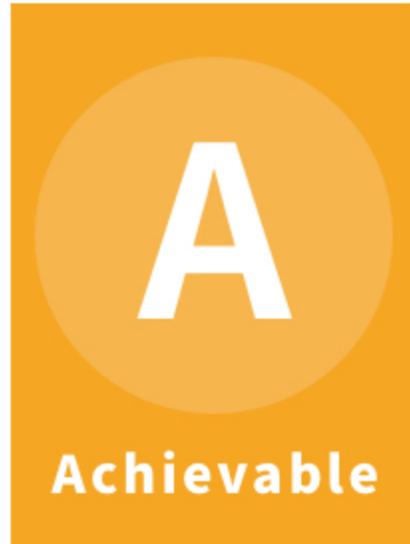
推定可能

~~ADL改善、嚥下機能改善~~

T-cane歩行自立、常食全量経口摂取

印象やあいまいな目標でなく
観測・測定可能か？

SMARTなゴール



達成可能

がん終末期、~~胸椎完全麻痺患者~~の自立歩行

がん終末期、胸椎完全麻痺患者の
全介助でリクライニング車椅子移乗

願望や夢でなく、実現可能か？

SMARTなゴール



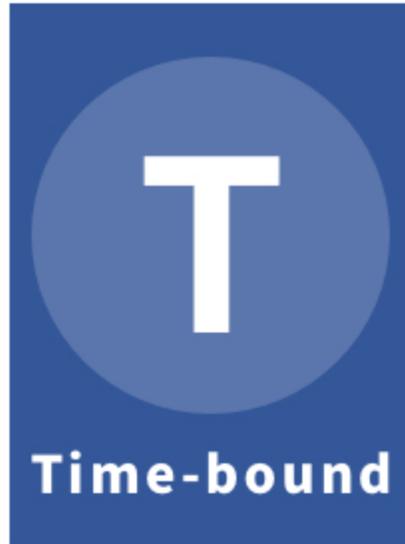
現実的

(予後数日の患者に) ~~Alb上昇 筋力向上~~
~~歯を白くする~~

(独居自宅退院をする患者に) 杖歩行自立

場当たりの的な目標ではなく
ADLやQOLに関連しているか？

SMARTなゴール



期間が明確

~~3食常食摂取~~

1週間でゼリー一食摂取
1か月で3食常食摂取

大体の期間ではなく
タイムリミットを決めている？

短期ゴールと長期ゴール

【短期ゴール】

リハ栄養プランの実施により短期間(3日、1週間、1か月)で達成できるゴール

例) 1週間で軽介助の短距離歩行 

【長期ゴール】

最終的に達成したい長期的(1～3か月、あるいは6か月以上の場合もある)なゴール

例) 1か月で見守り歩行 

ゴール設定に必要な要素

【リハからみた栄養】

リハ職種からみた栄養の視点からゴールを設定。リハの運動内容や今後の機能改善を目的に設定する。管理栄養士が推定エネルギー消費量と同様のエネルギー投与量を設定する場合も多い。

例) 筋肉量も運動量も増えた

⇒ エネルギー投与を〇〇kcal上げる



ゴール設定に必要な要素

【栄養からみたりハ】

現在の栄養状態や今後の栄養状態の予後予測からりハのゴールを設定。

例) 栄養状態良好かつ経口摂取量も十分
⇒ADL向上を目指したゴール設定と積極的な筋力増強、持久力増強のトレーニング追加



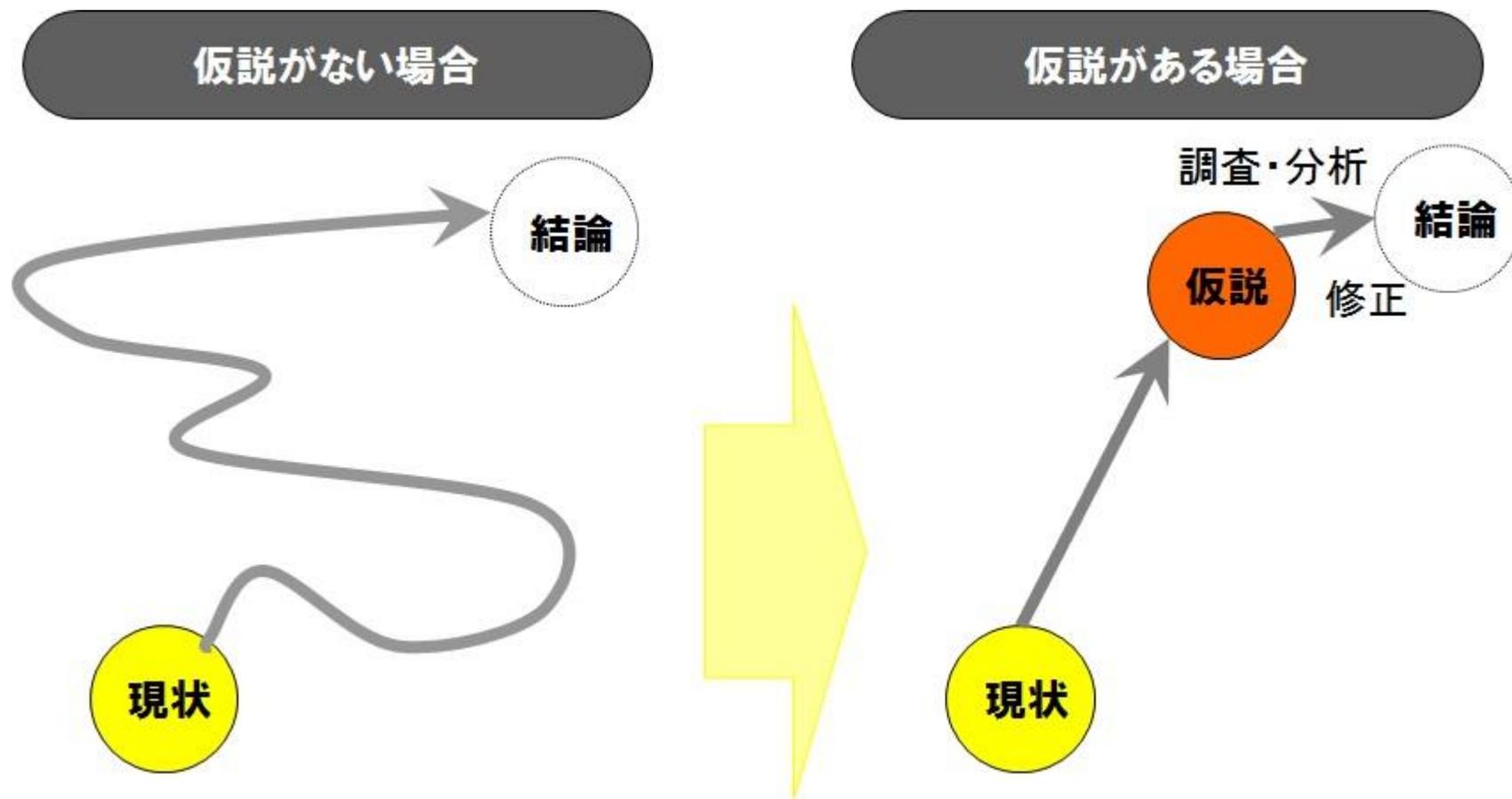
例) 不応性悪液質で栄養状態が悪化が予測される



⇒積極的な改善はゴールに適さないため緩やかな悪化をゴールに設定

仮説思考

S M A R T

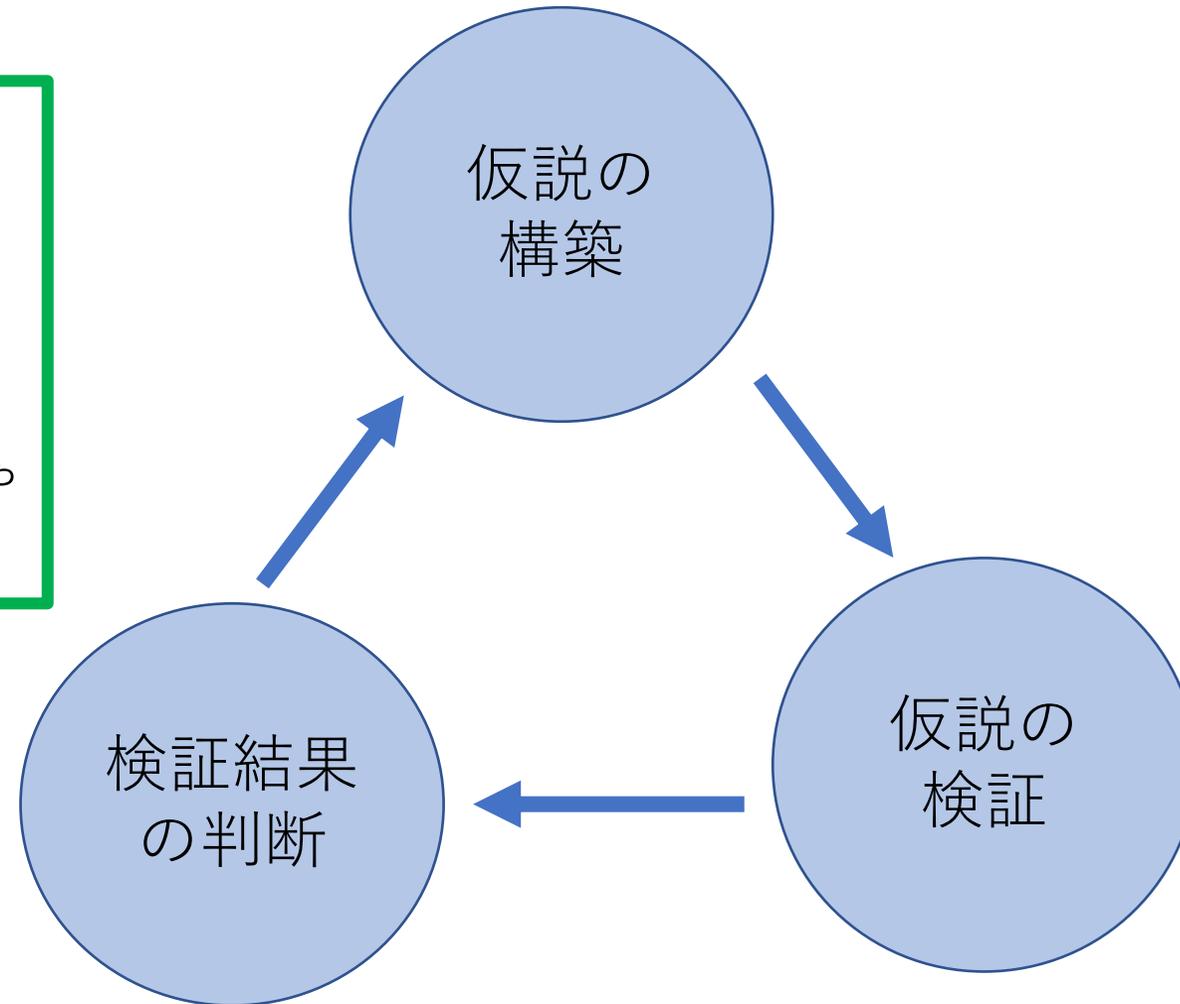


仮説思考

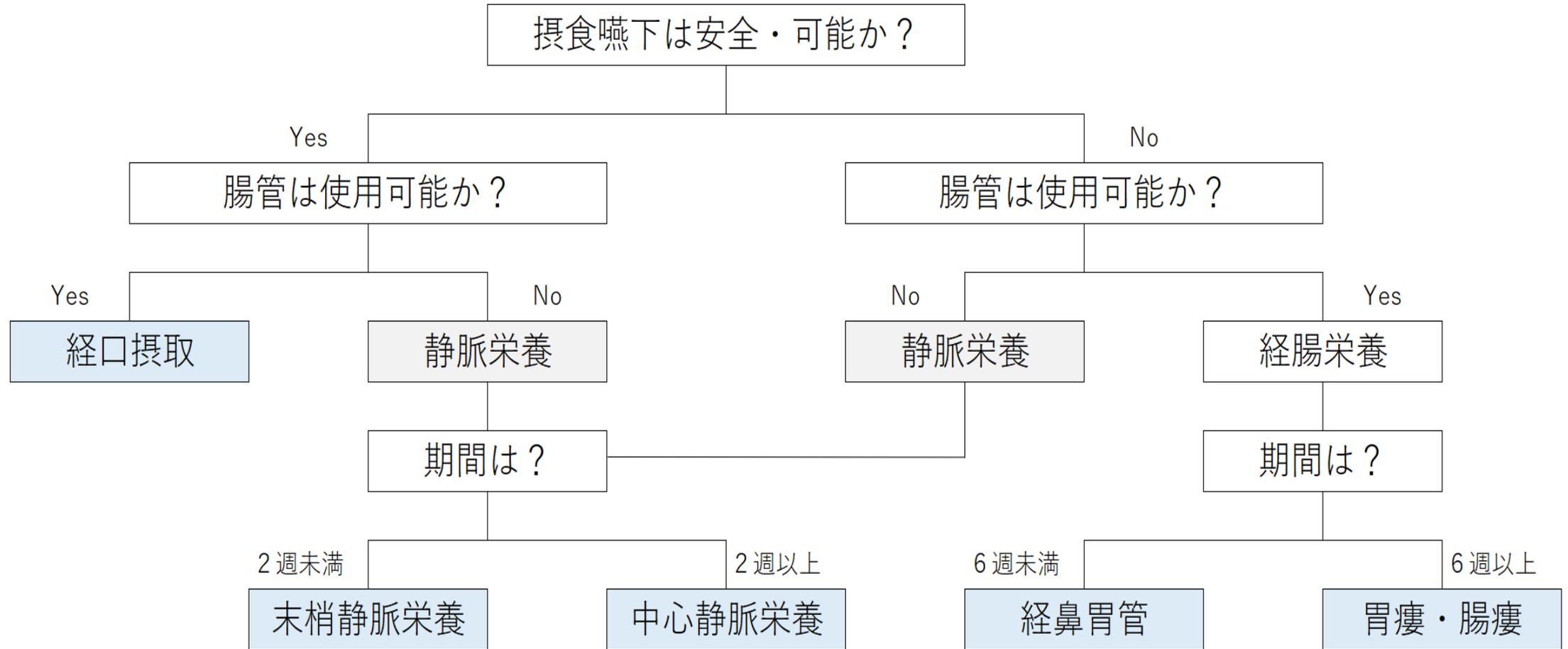
S M A R T

【メリット】

- ①直観や思い込みを排除することができる。
- ②正しい答えに到達する可能性を高める。
- ③問題解決のための時間や作業を短縮できる。



栄養投与のフローチャート



具体例

- 78歳男性
- 診断名：原発不明がん第5胸椎転移
- 既往歴：脳梗塞(70歳時)
- 妻と二人暮らし。自宅内のADL自立。普通食摂取
- 週3回デイサービスに通っていた
- 身長160cm、体重80kg
- 急に足が動かなくなり、胸髄麻痺と診断され緊急手術
(1週間の人工呼吸管理、胸髄完全麻痺、排痰困難、せん妄、ムセ)

具体例

- 78歳男性
- 診断名：原発不明がん第5胸椎転移
- 既往歴：脳梗塞(70歳時)
- 妻と二人暮らし。自宅内のADL自立。普通食。
- 週3回デイサービスに通っていた
- 身長160cm、体重80kg
- 急に足が動かなくなり、胸髄麻痺と診断され緊急手術（1週間の人工呼吸管理、胸髄完全麻痺、排痰困難、せん妄、ムセ）

STG (1week)	経口摂取可能かどうか見極め
STG (1week)	全介助でリクライニング車椅子に移乗
STG (1week)	経鼻経管栄養と中心静脈栄養から推定エネルギー必要量投与
STG (2 week)	見守りでゼリー食摂取
STG (2 week)	経鼻経管栄養で推定エネルギー必要量投与
STG (2 week)	リクライニング車椅子で1時間過ごす
LTG (1month)	軟飯軟菜を全量経口摂取
LTG (1month)	介助下で車椅子坐位移乗

具体例

変更

- 78歳男性
- 診断名：原発不明がん第5胸椎転移
- 既往歴：脳梗塞(70歳時)
- 妻と二人暮らし。自宅内のADL自立。普通食。
- 週3回デイサービスに通っていた
- 身長160cm、体重80kg
- 急に足が動かなくなり、胸髄麻痺と診断され緊急手術(1週間の人工呼吸管理、胸髄完全麻痺、排痰困難、せん妄、ムセ)

STG (1week)	経口摂取可能かどうか見極め
STG (1week)	ティルトテーブルで60度、10分を3回行う
STG (2 week)	胃瘻造設し、経腸栄養と中心静脈栄養から推定エネルギー必要量投与
STG (2 week)	見守りで昼のみゼリー食摂取
STG (3 week)	静脈栄養離脱し全量経口と腸管栄養からエネルギー投与
LTG (1month)	全介助でリクライニング車椅子に移乗
LTG (1month)	見守りでミキサー食摂取